

## 平成 28 年度第 1 回市立砺波総合病院経営改善委員会の開催について

「市立砺波総合病院経営改善委員会」を開催し、経営状況等の点検及び評価を行いましたので公表します。

市立砺波総合病院では、砺波医療圏の中核病院として安全・安心・良質な医療の提供と、健全経営をめざし安定かつ継続的な経営改革への取組みを目標とし、市立砺波総合病院中長期計画（後期計画）（計画期間平成 26 年度から 30 年度）を策定し、この計画に基づく経営状況を点検及び評価を行うため、市立砺波総合病院経営改善委員会（以下「経営改善委員会」という。）を設置しております。

経営改善委員会は、医療関係者のほか、市民団体、経済界、行政等の様々な専門分野の委員 8 名で組織されており、市立砺波総合病院の経営改善に関する事項等について点検及び評価いたしております。委員の皆さんは次のとおりです。（敬称略）

| 要綱に基づく区分                     | 役 職              | 氏 名    |
|------------------------------|------------------|--------|
| 医療政策に指導的立場に立つ医療関係者           | 金沢大学医薬保健学域長・研究域長 | 金子 周一  |
| 砺波医療圏における医師又は看護師等が組織する団体の代表者 | 砺波医師会長           | 金井 正信  |
| 市民が組織する団体の代表者                | 砺波市地区自治振興会協議会長   | 杉本 庄一  |
|                              | 砺波市連合婦人会長        | 大井 千津子 |
| その他学識経験を有する者                 | 砺波商工会議所会頭        | 北村 憲三  |
|                              | 税理士              | 水木 保男  |
| 行政関係者                        | 富山県砺波厚生センター所長    | 大江 浩   |
|                              | 砺波市副市長           | 齊藤 一夫  |

市立砺波総合病院経営改善委員会の開催の概要は次のとおりです。

- (1) 日 時 平成 28 年 11 月 8 日(火) 午後 4 時から午後 5 時 50 分
- (2) 場 所 市立砺波総合病院南棟 2 階第 1 会議室
- (3) 出席委員 経営改善委員会委員 8 名
- (4) 委員長の互選 金子周一委員を委員長に選出
- (5) 協議事項

① 平成 27 年度経営状況について

延入院患者数の減少等により診療収入が低迷した。このため、材料費や経費は低減し

たものの、南棟等の減価償却費の増加の影響により、2年連続の赤字決算となった。

② 平成28年度（上半期）経営状況について

延入院患者数は堅調に推移し、本年度の収支は前年度同時期に比べ好転している。

③ 経営改善の取組みについて

地域包括ケアシステムを構築するため、入退院支援を強化するとともに、地域連携クリティカルパスの運用等地域医療との連携を推進している。医療機能の分化を進め、地域医療支援病院の承認取得を目標としている。

DPC制度の適切な運用を推進し収益の改善を図るとともに、医療の質の向上に取り組んでいる。給食調理業務の民間委託の導入を進めたものの人的確保が困難との理由から応札者が無く委託は取りやめた。

④ 新公立病院改革ガイドラインに基づく市立砺波総合病院新改革プランについて

ア 総務省より新公立病院改革プランの策定を求められており、当院として市立砺波総合病院中長期計画（後期計画）を継承した市立砺波総合病院新改革プランを平成28年度中に策定し、平成29年度からはこれを経営計画と位置づけること。また、策定にあたっては、県の地域医療構想と整合すること。

イ 新公立病院改革プランの要件のうち「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」については、一部に回復期機能（地域包括ケア）を有するものの、高度急性期機能及び急性期機能を中心とした医療提供体制を当院の役割とすること。

上記のア、イについて委員の了承を得た。

⑤ 今後の収支の見通しについて

平成35年度までの収支見通しでは、引き続き減価償却費や控除対象外消費税の負担が大きい。今後も経営改善を継続していく。

(6) そ の 他

市立砺波総合病院新改革プランの策定にあたり、本年度中に再度本委員会を開催しご意見を賜ることとする。

委員からの主な質問や意見は次のとおりです。

- ・地域包括ケア病棟の利用状況について質問があり、本年度の病床利用率78%を報告した。
- ・給食調理業務の民間委託の取りやめの経緯について質問があり、県内の雇用情勢により応札者が無かったことを報告した。
- ・へき地診療を堅持していただきたい。
- ・新入院患者を獲得する取組みと退院患者の動向の把握と対策を検討されたい。
- ・地域医療と一層連携し、在宅患者の入院を受け入れていただきたい。
- ・市立砺波総合病院には引き続き地域の中核病院の機能、特に「結核」や「がん」等の政策医療の機能を維持・確保されたい。
- ・減価償却費を見通し、計画的な投資を検討されたい。